

安川 哲生 議員



一問一答方式

- ① TPP、EPAの発効を踏まえた今後の林業振興
- ② 山鳥坂ダム
- ③ 国民健康保険税
- ④ 防災対策
- ⑤ 光ネット整備

TPP、EPAの発効を踏まえた今後の林業振興について

問 総面積の約7割が森林である本市では、他の自治体と同様、T

PPPやEPAの発効による林産物の価格への影響を懸念しているが、こうした厳しい状況を林業の体質強化に向けた契機と捉えるべきだと思

入も予定しているようだが、林業従事者が将来にわたり夢と希望の持てる産業へと育成、発展させるため、本市では今後どのような森林整備の取り組みを行っていく考えなのか。

答 平成31年に創設が予定されている森林環境税の制度は、全国の自治体に対して、私有林の人工林面積、林業就業者数などから算出される額が毎年譲与されることとなり、市としても、森林環境税の創設を林業の体質強化に結びつけていきたいと考えています。今後、新築住宅の着工件数減少を見越し、内装・外装の木質化の普及や加工・流通体制の整備、新たな用途の製品の技術開発の推進など、資源を活用する伸び代が大きい分野に、関係団体や関係機関との連携、協力を図りながら取り組んでいきたいと考えています。

山鳥坂ダムについて

問 山鳥坂ダム建設工事について

は、見の越トンネルも始まり、付け替え県道工事が本格的に行われている。水没地域である岩谷地域には、生活再建、地域振興等に

していろいろな問題が残されており、水没移転者は、住みなれた地域を離れ、現在残っておられる住民の方は人口減少を嘆いておられ、生活再建、地域振興などが進んでいないと思う。そこで、地域住民と水没によって移転された方々との交流を目的とした事業を行うことで、それぞれが新しい一歩を踏み出せるのではないかと思う。市は、国、県等に働きかけてそういった行事を進める考えはないか。

答 交流を目的とした行事については、自治会主催のクロッカー大会や実行委員会が主催する山鳥坂鎮縄神楽、夜神楽などの地域行事に参加を

いただいています。本市では、関係者の高齢化が進む中、これからも地域住民の負担軽減を考慮しながら、国、県と連携して地域への支援や節目の行事など、交流事業の推進を図っていきたく考えています。なお、平成30年度には山鳥坂ダム地域振興基金を活用し、夜神楽の舞台等の整備を予定しており、運営等における負担軽減に努めることとしております。

光ネット整備について

問 現在の高速情報化時代に光ネットが整備されているのは、本市

の一部の地域だけで、大半が取り残されているのが現状だと思っている。また、谷間のところでは電波状態が悪いところもある。これからの地域の活性化のためにも、行政と通信業者との連携を行い、早急に地域間格差をなくしてほしいと思うが、考えを伺う。

答 本市におけるネット環境の整備は、民設、民営を基本に地域イ

ントラネットの空き芯線の貸し出しを行いつつ、各携帯通信会社に無線系通信網を拡張していただくという方針で進めていくということが、現時点で最も合理的であると判断しており、そのための通信事業者との連携を密にしていきたいと考えています。今後とも地域間格差を少しでも是正できるよう2020年を目標として開発が進められている5Gと呼ばれる新たな通信技術やサービスの延長などにも注視をしながら、幅広い整備方法の研究にも取り組んでいきたいと考えています。